

実質化された人・農地プラン（令和5年度見直し）

市町村名	対象地区名／地域名	当初作成年月	直近の更新年月日
青森市	荒川 (荒川・ハツ役・上野・野木・大別内・金浜)	平成25年1月	令和6年3月27日

1. 対象地区の現状

<p>水田の基盤整備が進められており認定農業者による農用地利用が図られている。担い手への農地の集約は進んでいるが、基盤整備の未実施の農地などは分散錯圃の状態となっている。水稻を中心に野菜などが栽培されており、兼業の農業者もみられる。</p>	
① 地域内の耕地面積	509.8 ha
② アンケート調査等に回答した地域内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	326.4 ha
③ 地域内における50歳以上の農業者の耕作面積の合計	214.3 ha
1) うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	104.9 ha
2) うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	6.5 ha
④ 地域内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	172.7 ha

2. 対象地区の課題

課 題	概 要
① 農地の集約化に関する課題	中心経営体の分散錯圃の解消のため、地域のリーダーの掘り起こしや関係機関との連携強化により農地を集約する必要がある。
② 農業経営に関する課題	機械の更新や設備投資に多額の経費がかかることや農産物の販売先の掘り起こしが困難であることから、農業経営に関する見直しや指導が必要である。

3. 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>当該地域の農地利用は、本プランに中心経営体として位置づけられた経営体が担い、認定農業者や認定新規就農者の受入を促進することにより対応していくほか、関係機関との連携強化や地域のリーダーとなる者の掘り起こしを行うなど、分散錯圃の解消を図る。</p>

4. 今後の地域農業のあり方（3の方針を実現するために必要な取組に関する方針）

<p>当該地域は現在基盤整備が実施されており、今後中心経営体による農地の集積が期待される。このため、規模拡大志向の未認定の農業者に対しては、農業経営改善計画の作成指導等を実施し、認定農業者へ誘導する。既存の認定農業者に対しては、各農業経営改善計画に対する進捗状況を把握し、関係機関と連携しながら目標達成まで支援する。農地の流動化に関しては、中心経営体同士での農地の交換により集約化し、大規模化を図っていく。また、高付加価値化や6次産業化、新規就農の促進に努める。</p>

5. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○経営体数	31経営体
法人	4経営体
個人	27経営体
集落営農（任意組織）	0組織